

## 一斉法要のご報告

善光寺では年に五回（一月、二月、三月、六月、九月）一斉法要を執り行っています。

毎回三百名を越す方々にお集まり頂き一緒にご供養を申し上げます。檀信徒の方にはその都度ご通知をさし上げております。日常にこころやすらぐひと時を。

ご都合のつく方は是非ご参詣下さい。お待ち申し上げます。

【平成二十二年】

一月九日（土） 新年祈禱会

臨済宗多福院住職の島崎義孝師によるご法話。師は善光寺留学僧育英会の第三回育英生で昭和六十二年、ニューヨーク禅センターに渡り

## ニュー・アラカルト



ご修行されました。その頃の思い出を先代方丈や前角老師の話を交え、また現在大阪藍野学院短期大学の看護科で教鞭をとられている経験などのお話を頂きました。

大般若祈祷、恒例の福引の後には、お檀家の佐々木さんによる三味線や民謡で賑やかなひと時を過ごしました。



— 二 五 — ス ・ ア ラ カ ル ト —

二月三日（水） 節分追儺法会

今年より桐元老師の後を受けて院代の役となつた前平武男師が、在家出身ながら、僧侶になつたいきさつ、いまここに至るまでのご縁について、「牛に引かれて善光寺参り」などの例えを紹介しながら、縁起についてのお話をされました。



大勢の僧侶による除難招福のご祈祷の後、恒例の豆まきが行われました。

### 三月十九日（金） 春彼岸法会

昨年の秋彼岸に続いて浄土宗乗雲寺安井住職のご法話を頂きました。

好評だった前回にも優る内容であつという間に時間が経ちました。「孝」という字は老いた



## ニユース・アラカルト

親を背たろうて行く子供の姿を表した漢字である」と紹介され、後ろ姿で幸せの種を蒔く事の意味をお話されました。知覧特攻隊のお話のくだりでは涙ぐむ方も多くおられました。

### 六月二十五日（金） 二十六日（土）

#### 孟蘭盆大施食法会

毎年この時期に二日間に渡り、孟蘭盆大施食法会を執り行っております。

駒澤大学名誉教授の佐々木宏幹先生から「供養のころについて」と題するお話を頂戴しました。

### 九月二十一日（火） 秋彼岸法会

駒澤女子大学教授の安藤嘉則先生による般若心経のお話。坐禅の呼吸法にも触れ、腹を意識した呼吸を紹介いただきました。



— ニューズ・アラカルト —



●●●●●●●●●●  
**特別坐禅会**

毎月の坐禅会の他にも団体研修としての坐禅会のお申込も受け付けております。

毎年、せんざんグループ人材育成の一環として幹部社員が大挙上山しての坐禅研修を行っております。

日頃忙しくされている方々ですが、ひと時ご自分を見つめ、静かに落ち着いたひとときをお過ごし頂きます。新しい心で、新しい出発。そして、心身共にリフレッシュ。

又、ボ  
ーイスカ  
ウトの坐  
禅会も、  
三十年に  
渡り行っ  
ておりま  
す。あの  
頃のボー  
イも立派  
な青年・  
中年(?)  
に……:



## — ニュース・アラカルト —

### ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●● 身代不動明王大祭

平成二十二年五月二十八日

数年来休止しておりました「不動明王大祭」は育英会の再開に鑑みて平成二十年五月から再開しております。

東郷敏先生の『論語講話』も今回で三回目を数えました。

不動殿にて大日如来・阿弥陀如来・薬師如来のお前立ちとしてお祀りしております「身代わり不動明王」。その不動さまの縁日は「八」の付く日。つまり、毎月八日、十八日、二十八日を縁日としています。

この日は大福をお供えして読経三昧に勤めております。殊に二十八日の大祭には大福やお赤

飯をお供えし、皆さまにも振る舞っております。

いつもの八の日の法要は内献（一般の方を招かずに行く）でのご供養。五月二十八日は「不動明王大祭」。この日はご縁の方やご希望の方はどなたでもご参拝を頂いております。ただし一斉法要の様に通知はいたしませんので、ご参加希望の方はどうぞお寺までお問い合わせて下さい。



## ニュース・アラカルト

### 光真寺 参拝旅行

平成二十二年七月二十二日～二十三日、栃木県大田原市の光真寺では毎年、地藏尊夏大祭を盛大に執り行っております。善光寺でも隔年です。そのお祭りに参拝しております。

恒例の光真寺参拝旅行。今回はみちのく路を北へ北へとまっしぐら。宮城県は松島へ。

松島や 鶴に身をかれ ほとどぎす

(おくのほそ道・松島・曾良)

さすがは日本三景の一つ。

素晴らしい景色に長いバスの疲れも吹き飛んで遊覧船ではかもめに餌を。

名湯、秋保温泉に浸り、翌日は南へと進路を変えて一路、光真寺へ。

山内の皆様の温かいおもてなしの心を受け、



宝寺前住職）と共にそのご恩に感謝申し上げ焼香をしました。

保春寺三十一世中興

大嶽春邦大和尚

世寿七十二歳



善寶寺山門前にて（成寿39巻より）

## ニユー・アラカルト

### 山内整備

晋山式を迎えるにあたり山内の整備が進められました。

不動殿の預骨堂の移転。渡り廊下の大黒尊天のすぐ裏にありました預骨堂を本堂東室中（右奥）に移転しました。この移転に伴い同室にはご開山さま並びに開基家のお位牌もお祀り申し上げ、日々ご供養させて頂いております。

法要などが行われている時でもゆつくりとお参りして頂きます。

また、畳の張替えや天蓋のクリーニング、釈迦殿のエアコン取替、トイレ改装やカーペットの張替えなど十数年に一度の整備も合わせて行いました。

仏具としては太鼓を総代・役員をはじめ護持



会からもご寄贈頂きました。ありがとうございます。



## ニ ュ ー ス ・ ア ラ カ ル ト

### 先代方丈の肖像画

この度の法要にあわせて先代方丈の肖像画が先代方丈の実弟 群馬大学教授 黒田能勝先生から寄贈されました。

七回忌法要の当日は、本堂に安置してお参りをさせていただきます。(〓本誌巻頭カラー頁に掲載)

現在は、不動殿にて御開山棟庵白純大和尚の肖像画と並んでお祀りしております。観れば観るほど先代方丈さまの慈愛に満ちたお人柄が偲ばれます。



上山。修行僧の前でこれから共に修行をしていきたいと就任の挨拶をされた。

加賀大乘寺は規矩大乘（きくまいじょう）と言われ、行持綿密に修行されている曹洞宗の名刹。

博志方丈は「謙虚・実直な人柄で共に仏法を学び、実践していく者同士」として修行僧教化に対する意気込みを語った。

◇「規矩」とは：規はコンパス、矩は物差しの意で、手本となる規則のことを意する。

特に曹洞宗では「威儀是仏法、作法是宗旨」と言い、服装や日々のふるまいにこそ仏法があるといわれる。その日常の規則を「規矩」と呼ぶ。

規矩大乘とは大乘寺がそれだけ厳しい修行をされている事を示している。

## — ニュース・アラカルト —





沙門  
三善堂  
印